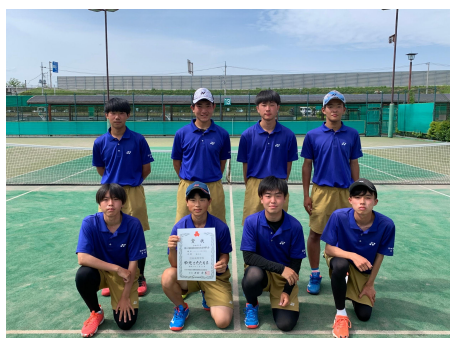




沼田高校運動部 高校総体特集

フェンシング部

高校総体では学校対抗で優勝、個人対抗でも好成績を収め、また香川県高松市で行われたインターハイについては、部長の峰岸君は「3年生はこれが最後のインターハイとなるので、個人戦・団体戦ともに去年の記録を越せるように全力を尽くしたいと思っています。練習の成果を発揮して、沼高にいい結果が報告できるように頑張ります」と話しており、峰岸君はフルーレでベスト8という好成績を残した。



ソフトテニス部

高校総体では団体で3位・個人でもベスト8と好成績を収めた。愛媛県の今治市で行われたインターハイでは、部長の砂山君は「とりあえず二日目に残りたい。自分たちらしいプレーで一勝でも多く勝てるように頑張りたい」と話していた。

硬式テニス部

高校総体では惜しくも敗れてしまったが、部長の角田君は「今大会では、部員一人一人が実力を十分に発揮し、現2,3年生の体制の中で一番良い結果を出すことができた。3年はしっかり最後まで戦いきれ、2年は今後に期待できるとてもよい大会だった」と話していた。



バレーボール部

高校総体、インハイ予選ともに惜しくも農二に敗れてしまった。部長の桑原君は「今年の春から岡田先生が赴任してきて部員全員勝ちたいと思っていたので悔しいです。後輩たちには自分たち以上に頑張ってもらいたいです」と話していた。

サッカー一部

高校総体は惜しくも二回戦敗退だったが、インハイ予選ではベスト8と好成績を収めた。部長の井上君は「インハイ予選では緊迫した試合に勝利しベスト8を達成することができた。後輩には来年ベスト4を目指して頑張ってもらいたいです。」と話していた。





野球部

群馬県大会は惜しくも初戦敗退だった野球部。主将の横山凰海君は「満足のいく結果ではなかった。しかし、やってきた事が出せたところは良かった。辛いことがほとんどだったが支えてくれる人、応援してくれる人がいたから自分たちも頑張れた。指導者の方々、保護者の方々には感謝したいです。」と話していた。

柔道部

高校総体で団体戦ベスト8という好成績を収めた。部長の吉野君は「ベスト8に入れ、関東大会に出場できて良かったが、自分的にはもっと上に行けたと思う。しかし、目標としていたベスト8に入れたのはみんなの努力の結果だと思う。何ごとにも諦めないこと、相手がどんなに強くても諦めず立ち向かうことの大切さを学んだ。先生と親に感謝です。」と話していた。



剣道部

高校総体は団体優勝、個人ベスト8という好成績を収めた剣道部。部長の田中君は「団体戦の優勝は嬉しかったが、個人戦は良い成績ではなかったから悔しかった。心身共に大きく成長できて良かった。真藤先生、ありがとうございました。」と話していた。



山岳部

高校総体で3位の好成績を収めた。部長の小野君は「今までの努力が実った結果だと思う。楽しかった。」と話していた。



空手道部

高校総体で惜しくも個人型初戦敗退、個人組手初戦敗退、団体組手初戦敗退という結果になった。部長の鈴木君は「無念の結果になったが、本気で臨めた。後輩には頑張ってもらいたい。3年間楽しかったことや辛かったことが沢山あったが、最終的に成長できたと思う。」と話していた。

陸上競技部

高校総体で200m準決勝進出、400m準決勝進出、800m準決勝進出という結果を収めた。主将の入澤君は「3年生は他の学年に比べて人数がいたこともあって、結果を含めて良い活動ができたと思う。去年に比べて確実に順位が上がっているの、次の世代に繋げていって、盛り上げていってほしいです。」と話していた。

バスケットボール部

高校総体でベスト16という成績を残したバスケット部。部長の小田橋君は「最後の総体で、日々の練習で身につけたことを出し切ることができました。結果的に三回戦目で負けてしまい、目標のベスト8に進出できなかったけど最後まで諦めない気持ちを持つ大切さや、チームメイトの存在、チームワークなど多くのことを学ぶことができました。」と話していた。